

島のむんがたり

車塔（クンマントウ）と
ナガタマチジヨのこと

へカラトントンティ トウリヤシ

ドーヤ クシヌ ムラドー

―（塩辛にする）タコが獲り

やすい所は 下久志村だ―

島唄「全島口説き」に唄われた
下久志集落から、横綱朝潮関生誕
の地井之川集落が望める台地で、
視界が開け遠くは加計呂麻の島々
が見える所一帯が車塔である【写
真1】。

藩政時代のこと、ナガタマチ
ジヨという絶世の美人が大和人と
恋をした。その恋人が島を去る時、
マチジヨが後を追って駆けつけた

【写真1】車塔（クンマントウ）



が、船はもう帆を揚げて出た後で、

消えゆく船の見えるこの岬に立つ

て男の無常を恨み、近くの田行川

の滝（写真2）に身を投じた。そ

れ以来「車塔・田行川」近隣の道

路に女の幽霊が出没し、髪をふり

乱した怨霊が急に飛び出してきて

夜間の通行人の後をつけるとか、

車の行く手を阻むなどの怨念ぶり

を見せると言い伝えられている。

友人のタクシー運転手が空車で

車塔を走っていたら、前方で手を

上げている妙齢の女性がいたので

乗せてあげたら、途中で車内から

消えていたという話を聞かせてく

れた。それで運転手は気味悪がつ

て、しばらく夜はその辺りを走ら

なかったそうだ。

数十年前の話だが、酒酔い気分

に任せて風流を気取り、下久志集

落から亀津までの月夜道を歩いた

ことがあった。車塔に近づくにつ

れ、これまで話に聞いていた伝説

の数々が頭をよぎり始めた。ここ

を通ると首切り馬に出合うとか、

タクシーの運転手の話等々。

多少酔っているとはいえ、思い

出しても身の毛がよだつような

ことが次々と頭に浮かび、大人気

もなく大声で歌を歌って小走りに

通り抜けるも、さすがに井之川集

落までは後ろを振り向く勇気がな

く、歩いて帰ったことを後悔した

ものだ。

今でこそ車塔一帯は道路事情も

非常に良くなり、近くの店舗から

の灯りがあり海に突出した辺りは

きれいに整備され景勝地となった。

往時の伝説を知る人や、周辺集落

の人たちが所用で夜間に通りがか

る時などどんな思いであったら

うか。気にかかるところである。

（町誌編さん室 岩下洋一）

*一部、時富彦氏著書を参考。



【写真2】田行川の滝